

# 1. 地区の概況

図1 地区の位置

\*地形図は国土地理院 基盤地図情報(数値標高モデル)5mメッシュにより作成

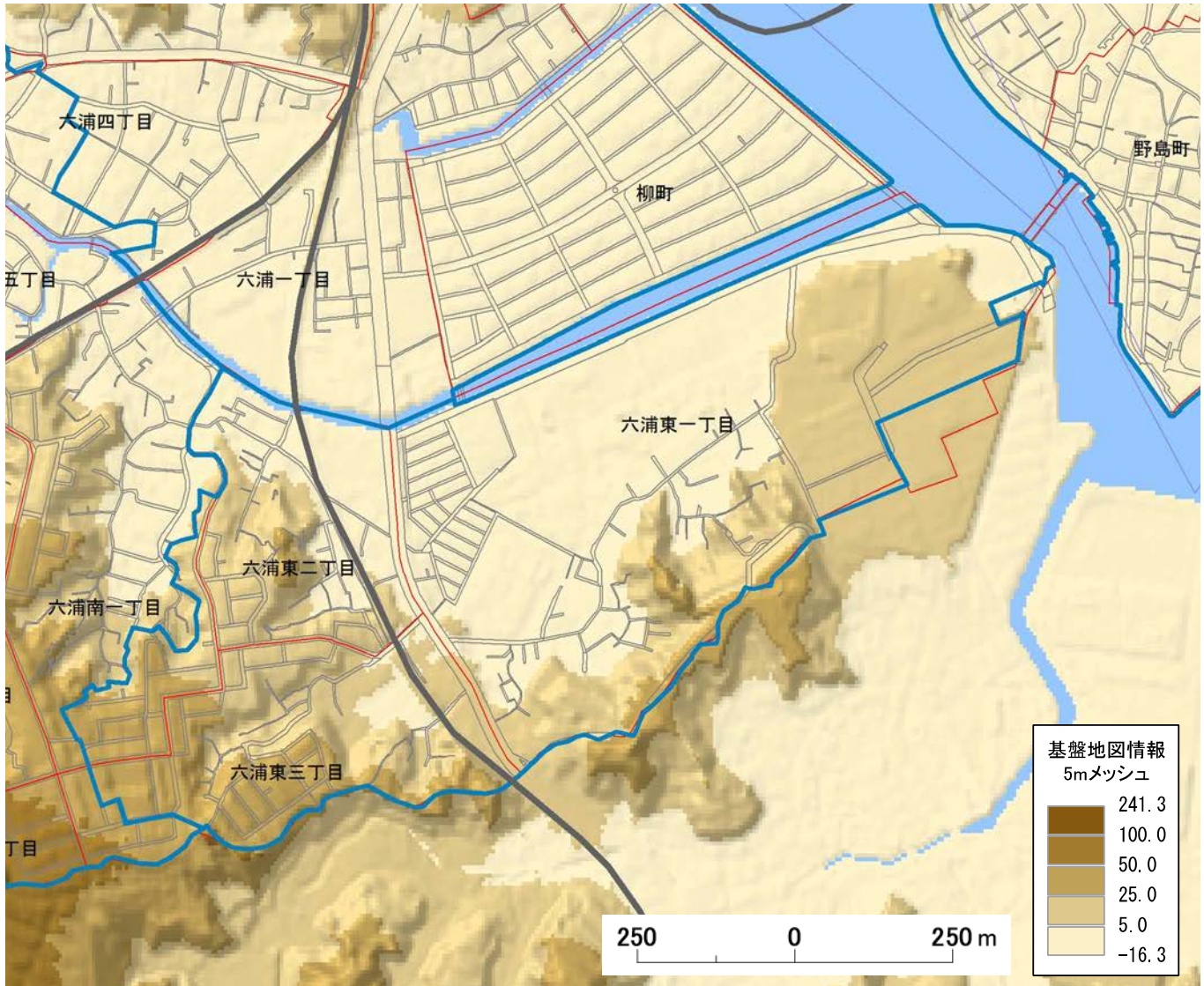


表1 人口、世帯数、年齢別人口等の動向

|               | 平成20  | 平成25  | 平成30  | 平成20<br>~25年 | 平成25<br>~30年 | 平成25<br>年比率 | 平成30<br>年比率 | 平成30年<br>区平均 | 平成30年<br>市平均 |
|---------------|-------|-------|-------|--------------|--------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| 人口 (人)        | 6,911 | 6,554 | 6,166 | ▲ 357        | ▲ 388        | 100.0       | 100.0       | 100.0        | 100.0        |
| 0~14歳人口 (人)   | 960   | 779   | 614   | ▲ 181        | ▲ 165        | 11.9        | 10.0        | 11.6         | 12.4         |
| (内0~5歳) (人)   | 306   | 279   | 227   | ▲ 27         | ▲ 52         | 4.3         | 3.7         | 4.1          | 4.7          |
| 15~64歳人口 (人)  | 4,630 | 4,207 | 3,790 | ▲ 423        | ▲ 417        | 64.2        | 61.5        | 59.5         | 63.4         |
| (内20~24歳) (人) | 437   | 383   | 441   | ▲ 54         | 58           | 5.8         | 7.2         | 5.3          | 5.3          |
| (内25~39歳) (人) | 1,308 | 1,056 | 893   | ▲ 252        | ▲ 163        | 16.1        | 14.5        | 15.1         | 17.8         |
| 65歳以上人口 (人)   | 1,424 | 1,568 | 1,762 | 144          | 194          | 23.9        | 28.6        | 28.9         | 24.2         |
| (内65~74歳) (人) | 753   | 799   | 854   | 46           | 55           | 12.2        | 13.9        | 14.8         | 12.1         |
| (内75歳以上) (人)  | 671   | 769   | 908   | 98           | 139          | 11.7        | 14.7        | 14.1         | 12.1         |
| 世帯数 (世帯)      | 3,100 | 3,008 | 3,029 | ▲ 92         | 21           |             |             |              |              |
| 平均世帯規模 (人/世帯) | 2.23  | 2.18  | 2.04  |              |              |             |             | 2.29         | 2.10         |

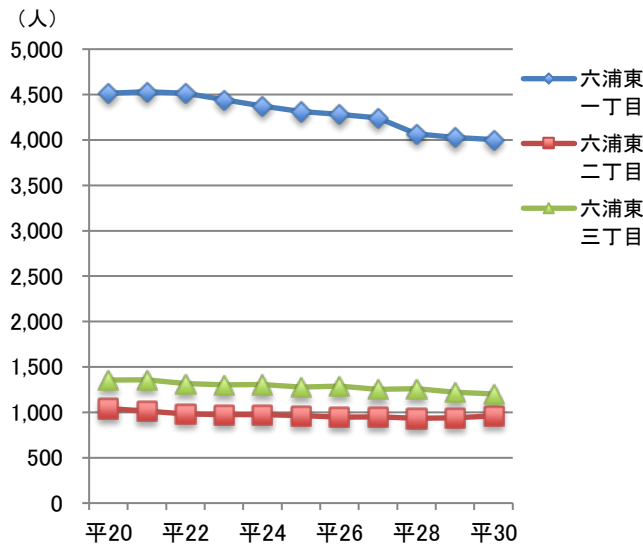
\*「町別世帯と人口」、「町別年齢別男女別人口」による。各年9月末現在

\*人口等の統計データは町丁目単位に集計されたデータを活用しています。

\*町丁目の境界線が複数の区域にわたる場合は、町丁目の区域を単位としていずれかの区域に含まれるものとして集計しました。

## 2. 町丁別人口世帯の動向 \*「町丁別世帯と男女別人口」による。各年9月末現在

図2 町丁別人口の動向



六浦東地区には、平成30年9月末現在約6,170人が暮らしています。世帯数は約3,030世帯、平均世帯規模は2.04人/世帯です。(表1参照)

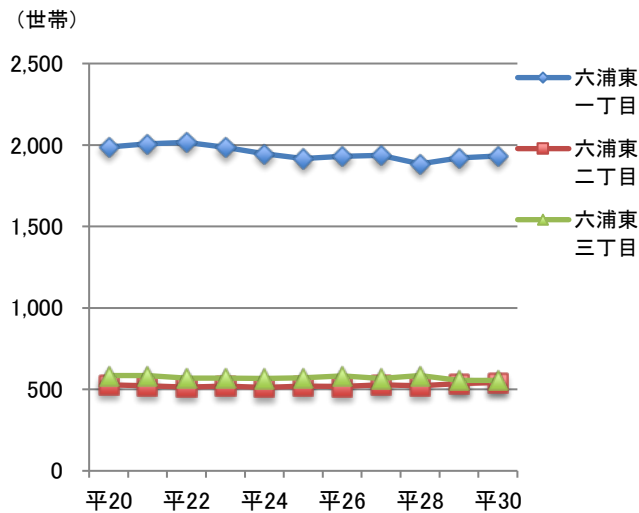
平成25～30年の期間で見ると、人口は減少が続いていますが、世帯数は増加になりました。

世帯規模は、縮小する傾向が続いており、平成30年の平均世帯規模は市の平均水準(2.10人/世帯)、金沢区の平均(2.29人/世帯)をともに下回っています。(表1参照)

平成30年時点の65歳以上の人口比率(高齢化率)は28.6%で市平均(24.2%)を上回り、区の平均(28.9%)は下回っています。高齢化率は5年間で約4.7%上昇しました。

0～14歳の人口(年少人口)、15～64歳の人口(生産年齢人口)はいずれも減少が続いており、比率もいずれも低下しています。(表1参照)

図3 町丁別世帯数の動向



六浦東地区には、3町丁が含まれています。

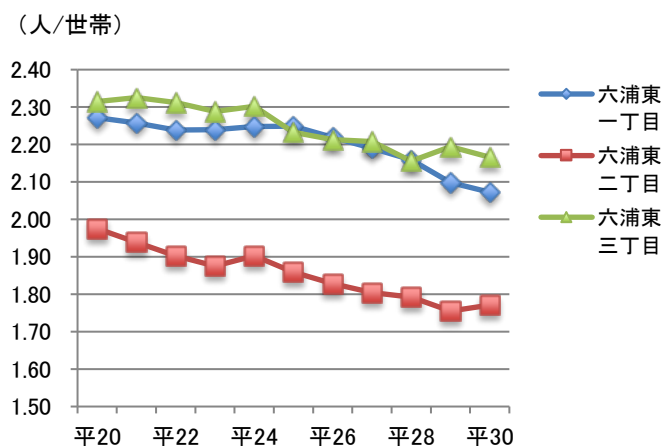
人口は、いずれの町丁も緩やかな減少傾向です。

世帯数は、六浦東一丁目で緩やかな減少傾向が続いていますが、六浦東二丁目、三丁目は安定した状態です。(図2,3参照)

世帯規模は、いずれの町丁も縮小する傾向があります。

六浦東二丁目の平均世帯規模は、2.0を下回ってなお縮小が続いています。(図4参照)

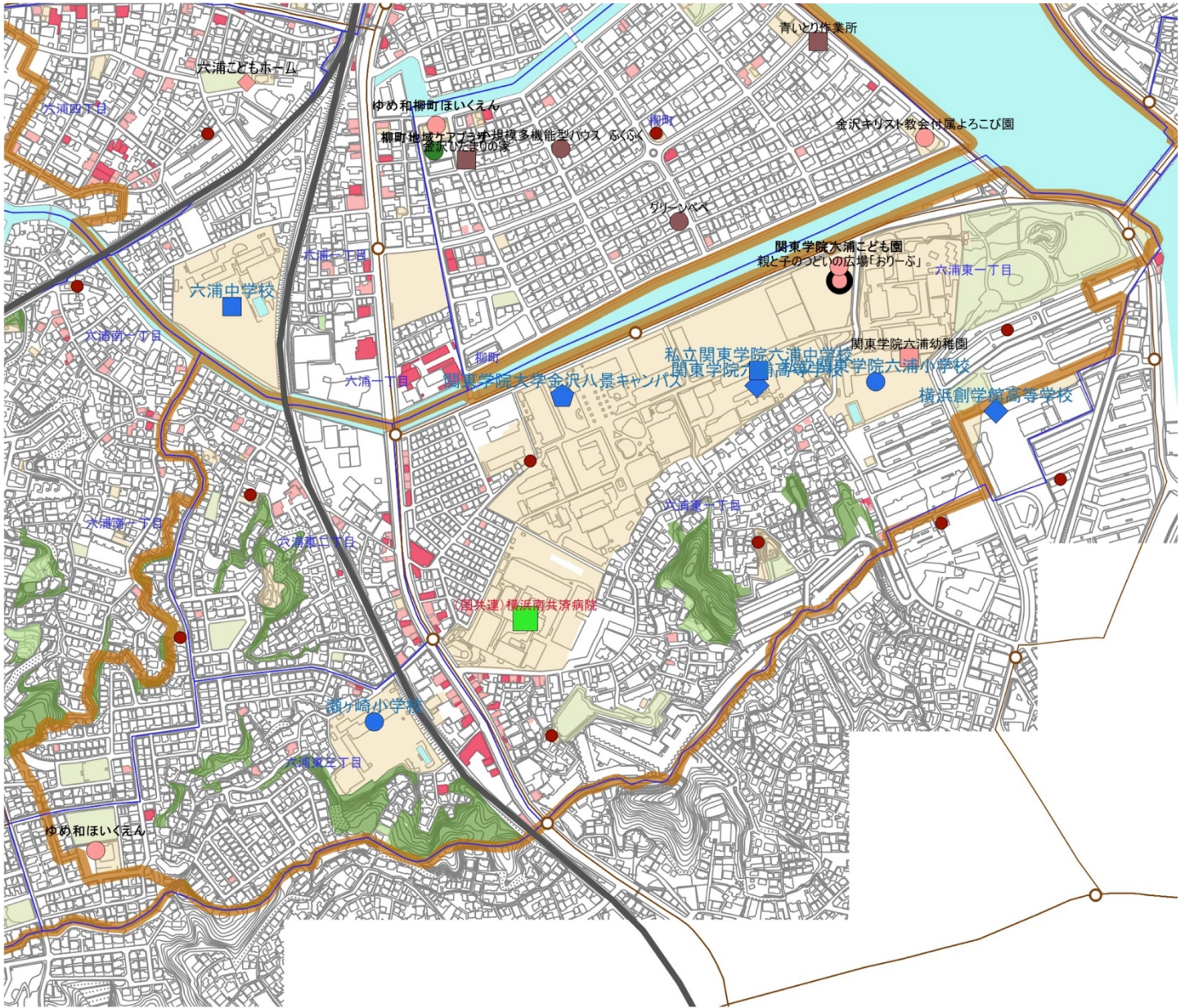
図4 町丁別平均世帯規模の動向



### 3. 地域の施設等の分布状況

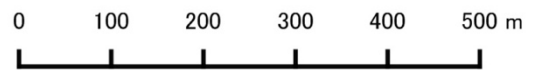
図5 地域の施設等の分布状況

\*土地利用現況、建物用途現況は、横浜市都市計画基礎調査結果による。  
\*施設の位置は、金沢区オープンデータ等による。



凡例

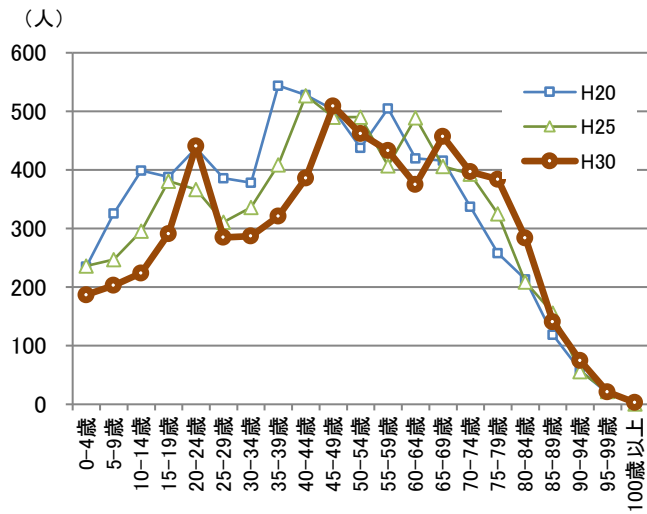
- |                      |            |
|----------------------|------------|
| ● 区役所、社会福祉協議会等       | ● 高齢者福祉施設  |
| ● 地域ケアプラザ            | ● 障がい者福祉施設 |
| ● 地区センター             | ■ 病院       |
| ◆ コミュニティハウス          | ● 自治会館     |
| ◆ その他の区民利用施設         | ○ バス停      |
| ● 保育所                | — バス路線     |
| ● 子育て支援拠点、親と子のつどいの広場 | □ 町丁目区境界   |
| ■ 幼稚園                | □ 連合自治会区域  |
| ◆ 学童保育               | ■ 樹林地      |
| ● 小学校                | ■ 河川・水面    |
| ● 私立小学校              | ■ 田・畑      |
| ● 中学校                | ■ 公園       |
| ● 私立中学校              | ■ 文教厚生施設用地 |
| ◆ 高等学校               | ■ 店舗       |
| ■ 大学                 | ■ 店舗併用住宅   |



【横浜市地形図複製承認番号 平28建都計第9020号】

### 4. 年齢別人口と人口移動

図6 年齢5歳別の人口の変化



\*年齢別人口は「町別年齢別男女別人口」による。各年9月末現在  
\*移動人口は平成13～28年の人口移動集計結果による

図7 年齢5歳別の人口の推移率

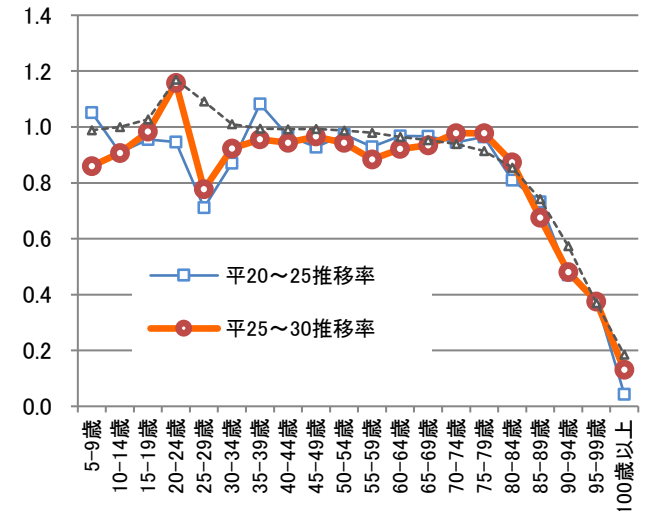
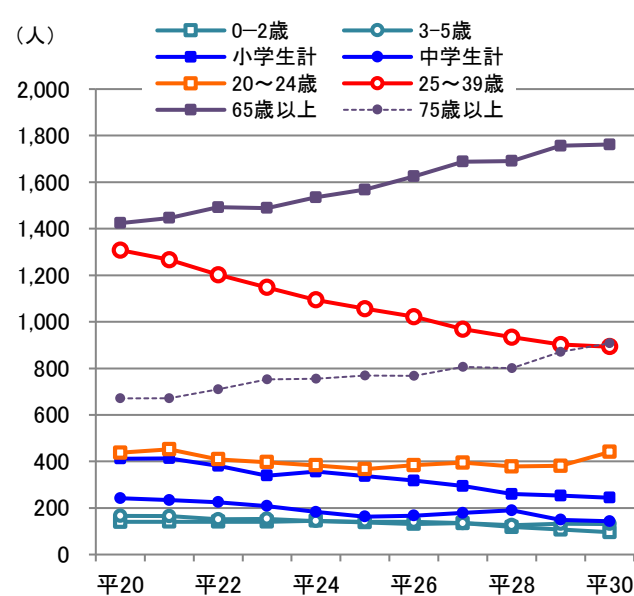


図8 年齢別人口の変化



\*推移率: 上記の場合は、年齢5歳階級人口の各階級の人口が、死亡、転出入によって5年後に1階級高齢の人口になる割合

六浦東地区は 45～79 歳の人口が多くなっています。20 歳代後半の転出による減少傾向が強く、その他の年齢でも緩やかな転出による減少傾向がみられます。(図6, 7参照)

25～39 歳の世代や小学生、中学生等が減少していることがわかります。(図8参照)

人口移動は転出が転入を上回る傾向が続いています(図9参照。六浦東地区は平成14年からデータ集計開始)

平成28年の社会移動をみると、20歳代前半を中心に緩やかな社会減少になっています。また減少傾向は全体として縮小する傾向がみられます。(図10参照)

図9 人口移動の動向

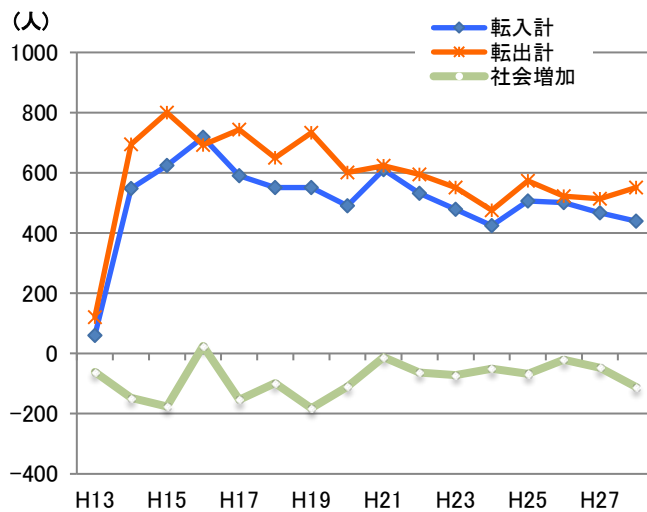
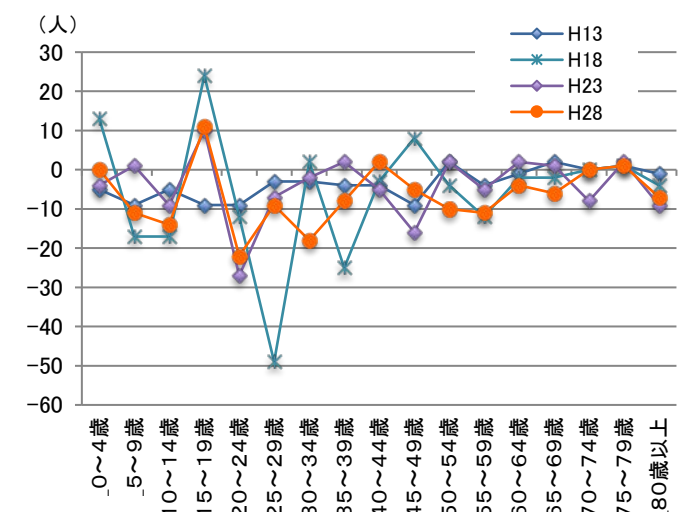


図10 年齢5歳別社会移動人口の動向



### 5. 世帯の状況と居住歴

\*各年「国勢調査」結果による

図 11 6歳未満の子どもがいる世帯の動向

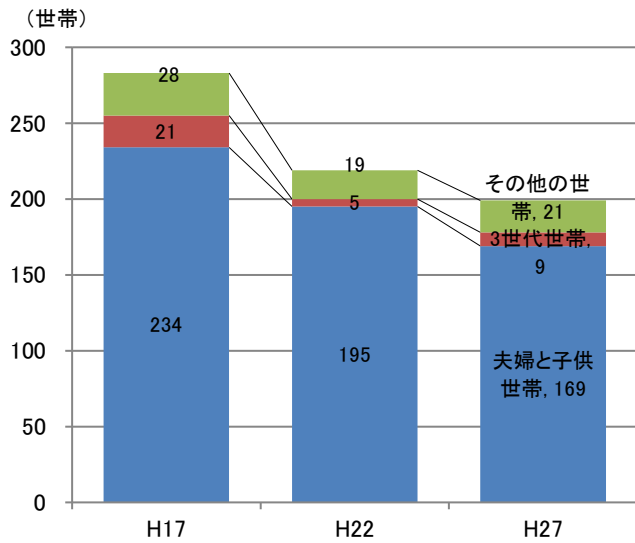


図 12 65歳以上の高齢者がいる世帯の動向

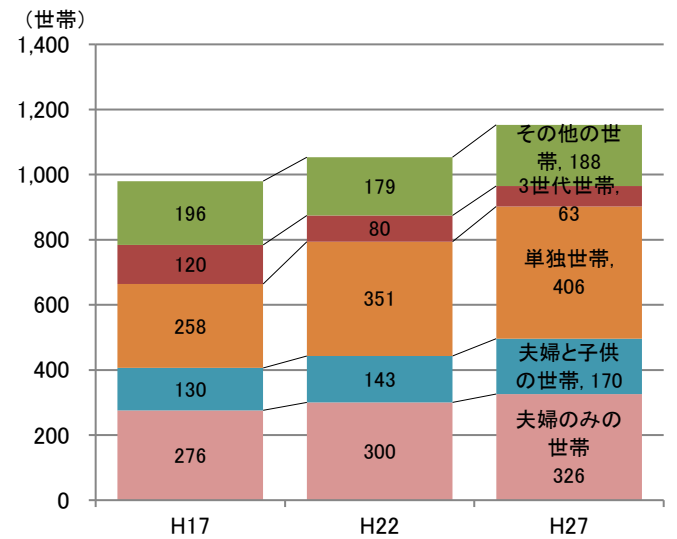


図 13 住宅の所有関係別の世帯の動向

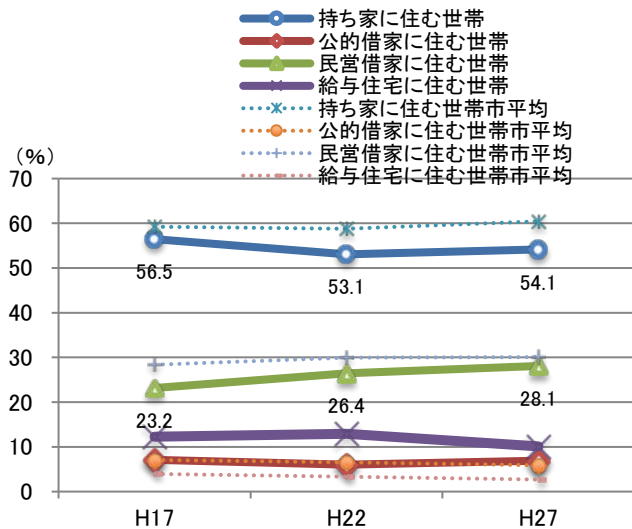


図 14 住宅の建て方別の世帯の割合

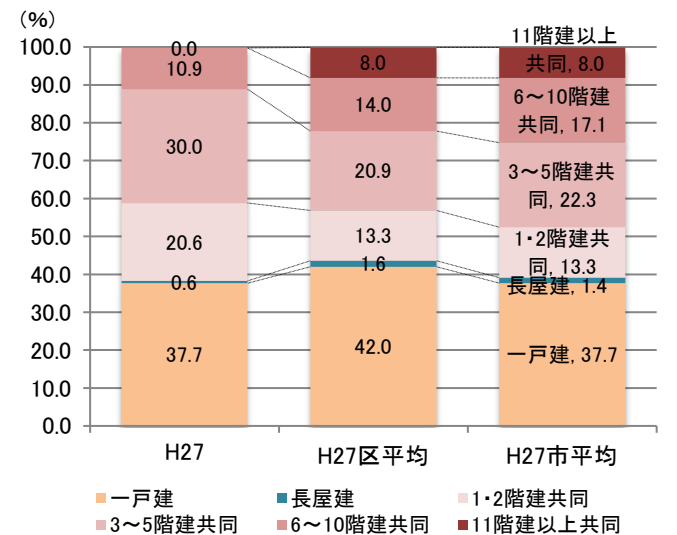


図 15 規模別世帯の動向

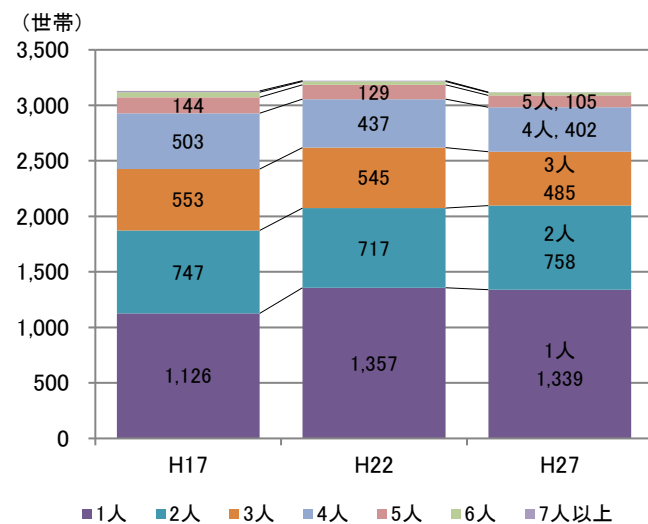
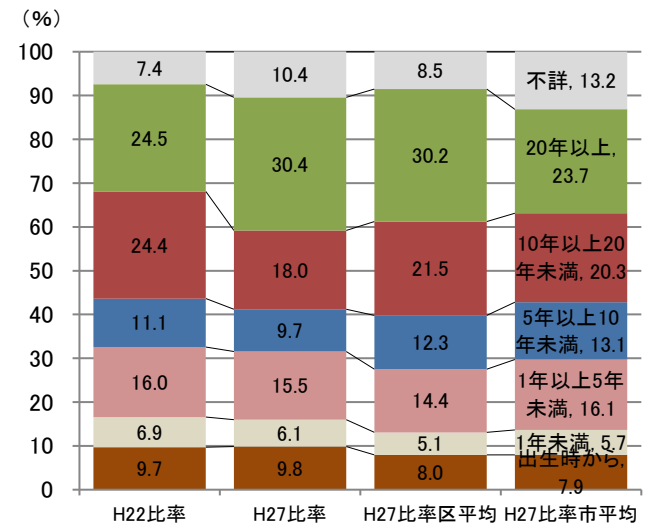


図 16 居住歴別人口の割合



## 6. 65歳以上の高齢者のいる世帯、要介護認定者数

表2 高齢者のいる世帯の状況 (H31)

|                 | 高齢独居世帯数(男性高齢者)  | 高齢独居世帯数(女性高齢者)  | 高齢者のみ世帯数(単身世帯除く) | 高齢者を含む世帯数(高齢者と高齢者以外で構成) |
|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|-------------------------|
| 世帯数(世帯)         | 215             | 386             | 359              | 721                     |
| 対世帯総数比率(%)      | 7.2 (区平均 4.8)   | 12.9 (区平均 11.7) | 12.0 (区平均 14.3)  | 24.2 (区平均 26.9)         |
| 対高齢者のいる世帯数比率(%) | 29.8 (区平均 17.9) | 53.5 (区平均 43.4) | 49.8 (区平均 53.2)  | 100.0                   |

\*高齢者のいる世帯は横浜市資料による。2019年3月時点。世帯数は住民基本台帳による

\*高齢独居世帯は65歳以上の方1名で構成される世帯

\*高齢者のみ世帯は、65歳以上の方のみで構成される2名以上の世帯

\*高齢者を含む世帯は、65歳以上の方と、65歳未満の方で構成される2名以上の世帯

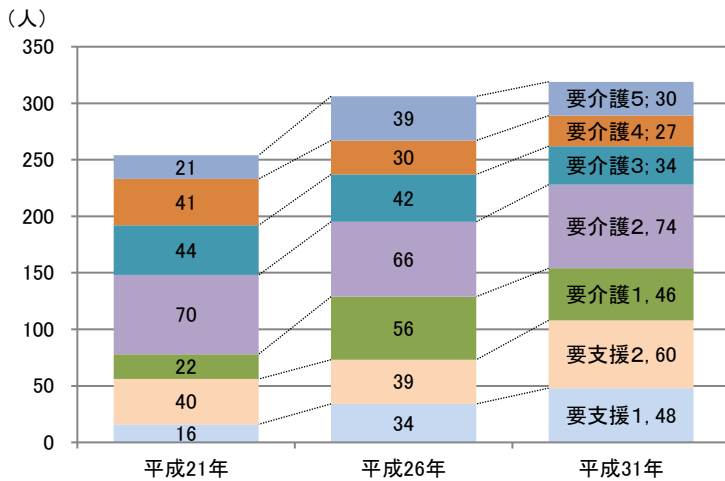
表3 要介護認定者数 (H31)

|              | 計      | 要支援1  | 要支援2  | 要介護1  | 要介護2  | 要介護3  | 要介護4  | 要介護5 |
|--------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 要介護認定者数(人)   | 319    | 48    | 60    | 46    | 74    | 34    | 27    | 30   |
| 人口比(%)       | 5.30   | 0.80  | 1.00  | 0.76  | 1.23  | 0.56  | 0.45  | 0.50 |
| 人口比区平均(%)    | 4.70   | 0.73  | 0.64  | 0.74  | 1.00  | 0.61  | 0.58  | 0.40 |
| 要介護認定者総数比(%) | 100.00 | 15.05 | 18.81 | 14.42 | 23.20 | 10.66 | 8.46  | 9.40 |
| 区平均(%)       | 100.00 | 15.46 | 13.69 | 15.82 | 21.31 | 12.93 | 12.34 | 8.45 |

\*要介護認定者数は、金沢区資料による。平成31年3月末時点

\*地区別人口は、「町丁別の人口(住民基本台帳による)」により集計。平成31年3月末時点

図17 要介護認定者数の動向



\*各年、要介護度別認定者数は金沢区資料による。

## 7. 地区の特徴と動向

六浦東地区は平潟湾と侍従川に面し区の最も南に位置する地区です。地区内を京急線が通過し、関東学院大学の六浦キャンパスが立地しています。

戸建て住宅に住む世帯は37.7%で、共同住宅に住む世帯が多くなっています。3～5階建ての共同住宅の居者世帯が多く約30%を占め区の平均(約21%)を上回っています。(図14参照)

また、持家に住んでいる世帯は約54%、民間の借家に住む世帯は約30%です。区の平均に比べて持家の比率が低く、民間の借家に住む世帯の比率が区平均に比べて多くなっています。(図13参照)

居住期間が長い人が多くなっています。平成27年時点で、居住期間が「20年以上」(約30%)、「10年以上20年未満」(約18%)が多くなっています。(図16参照)

6歳未満の子どもがいる世帯は減少する傾向があります。

6歳未満の子どもがいる世帯は平成27年で約200世帯で、世帯総数(約3,120世帯)の約6%を占めています(区平均は約8%)。このうち約89%が核家族(親と子からなる世帯)です。(図11参照)

65歳以上の高齢者がいる世帯は増加する傾向があります。特に高齢者の単独世帯、高齢者の夫婦のみの世帯の増加が目立ちます。

平成27年で高齢者のいる世帯数は約1,150世帯で、世帯総数の約37%を占めています(区平均は約41%)。このうち、高齢者の夫婦のみの世帯は約28%、高齢者の単独世帯は約35%です。高齢者の一人暮らしの世帯の比率が高いことが特徴です。(図12参照)

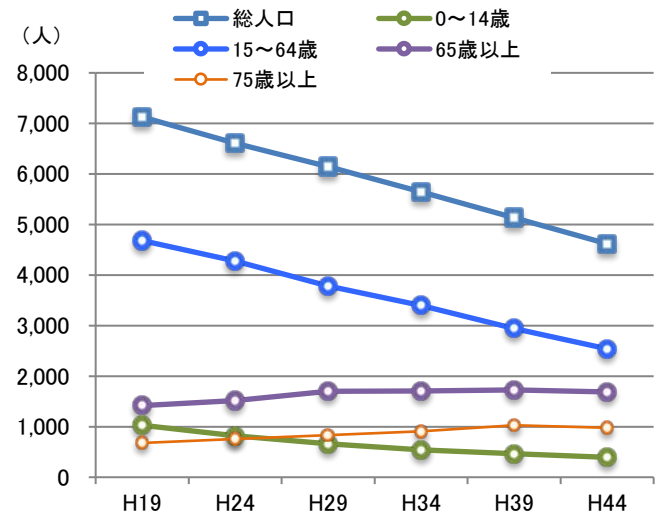
平成29年時点の高齢者のいる世帯の比率は約42%で、区の平均(約43%)に近い比率です。(表2参照)

また、要介護認定者の人口比率は約5.1%で、区の平均(約4.7%)を上回っています。(表3参照)

現在は、20歳代前半を中心に多くの年齢層に緩やかな転出により減少する傾向があるため、結果的に人口減少が続いています。

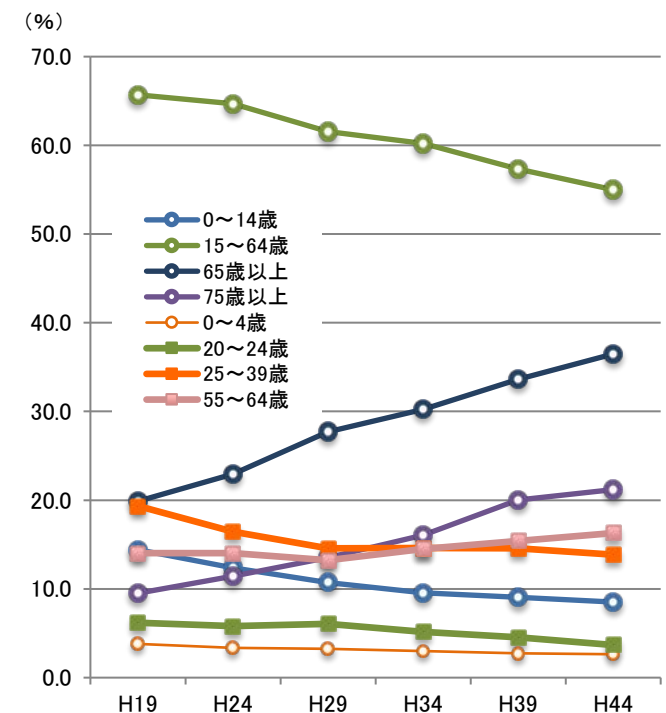
現在の年齢5歳別の人口の変化の傾向が続くと、今後も緩やかな人口減少が続きます。

図18 人口の動向と推計



\*平成24～29年の年齢5歳別人口の変化の傾向が続くものとして推計した値です。  
\*平成34年以降が推計値です。

図19 人口の動向と推計 年齢別比率



既に高齢化率が高くなっていますが、今後高齢期を迎える人口がこれまでのようになり続けられないので、65歳以上の人口の増加傾向は緩やかになります。75歳以上の人口の急速な増加はつづきます。

(図6、7、18、19参照)